

働く者の立場で政策制度、組織課題の前進を図り、将来に亘り安全で社会に信頼されるJRを築こう!

http://www.jr-rengo.jp



J R 連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10

東興ビル9階

TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848

FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849

1部20円 (但し組合費に含む)

●発行者 松岡裕次 ●編集者 中山耕介

facebook

JR連合

twitter

JR連合

JR北海道の鉄道事業見直し等に対するJR連合見解

今年7月にJ R北海道が「持続可能な交通体系のあり方」を表明した後、駅廃止や路線廃止などの鉄道事業見直しに関するマスコミ報道が頻発していることを受けて、J R連合は10月31日に以下の声明を発信しました。

J R北海道の鉄道事業見直し等に対するJ R連合見解

2016年7月29日、J R北海道は「持続可能な交通体系のあり方」について考え方を示した。J R北海道が、将来にわたり安全で持続可能な鉄道事業を運営する社会的使命を果たすために、地域に向き合う姿勢を初めて示したことについては一定評価するものの、同社の置かれている状況を地域の方々と同様に共有し、意見交換・協議を行う姿勢が今日まで欠けていた点については、猛省を促すものである。そして、その後、廃止路線などについて連日のようにマスコミで取り沙汰され、地方自治体及び道民そして社員、組合員の不信が増大しており、同社の情報管理にも疑問を呈さざるを得ない。

J R北海道に働く者は、一連の事故・不祥事を受けて、その反省と教訓にもとづき、国の支援も受けながら、安全性向上にむけた取り組みを懸命に進めているが、その取り組みは道半ばである。

一方で、J R北海道は、発足当初より厳しい経営が想定され、経営安定基金や税制特例措置等の様々な経営支援策が施されてきた経緯もあり、鉄道ネットワークを維持・発展させるという社会的使命を果たすため、更なる自助努力を重ねていかねばならないことは言うまでもないが、急速に進む高齢化や人口減少による乗客減に歯止めがかからず、安全投資の増大も相俟って、今年度は多額の経常損失を見込むなど、経営環境は深刻さを増している。

J R連合・J R北労組は、このような社会構造の変化や地方鉄道の実情を踏まえ、現在「鉄道特性活性化プロジェクト」に取り組み、鉄道のみならず、公共交通全体の在り方に関する議論を積み重ね、「交通政策基本法」や「改正地域公共交通活性化再生法」の精神を体现する「チーム公共交通の形成」を提唱し、事業者間の連携や、国や地方自治体が主導的役割を果たすことの必要性を訴えてきた。

J R北海道は、廃止や上下分離ありきの議論を行うのではなく、沿線自治体と胸襟を開いた議論を行い、地域の声に耳を傾け、信頼関係を構築した上で、地域の実情に即した形での移動手段の確立に丁寧に取り組まなくてはならない。また、自治体の苦しい財政事情を踏まえれば、北海道行政の長たる道としても強いリーダーシップが求められる。「北海道全体の持続可能な交通体系」を確立するためにも、働く者も含めた全ての関係者が知恵を絞り、主体的に動き連携しようではないか。

最後に、労働組合として、組合員の雇用や労働条件にも密接に関わり得るという観点から、J R北海道に対しては、労使関係においても前広且つ誠実な対応を求める。加えて、J R北海道は、国民、道民の理解を得るためにも、今こそ国鉄時代の残滓であるJ Rへの革マル派浸透問題に真摯に向き合い、歪んだ労使関係を清算し、健全な労使関係を構築すべきである。

2016年10月31日
日本鉄道労働組合連合会 (J R 連合)

高木義明会長からは、

「J R九州が株式上場した

熊本地震や台風による鉄道

を確保した。また、7月の参議院選挙で各単組が支援した議員ら7人を新たに議員フォーラムへの加入を確認し、

北神主朗49歳「民進党」(衆・京都4区・当選3)

古賀之土57歳「民進党」(参・福岡県・当選1)

矢田わか子51歳「民進党」(参・比例・当選1)電機連合

小林立夫69歳「民進党」(参・比例・当選3)電力総連

川合孝典52歳「民進党」(参・比例・当選2)UACセン

議員連盟「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」は

11月9日、都内にて、第12回総会を開催した。衆参45人の国会議員をはじめ、秘書、地方議員、J R連合執行部、

単組役員ら総勢100人が出席し、新年度の活動方針、新規加入議員、当面の政策課題、役員選出について確認

し合うとともに、J R連合の取り組みの政策課題について詳細を説明し共有を図った。

本フォーラムは2006年に結成し、将来のJ R産業のあり方について理解と協力をいただき、国政においてJ R連合の政策実現にむけて支援をいただいている議員連盟である。臨時国会におけるT P P関連法案の強行採決で衆議院の審議が停滞する中で開催した今

総会は、議員懇談会事務局長でもある小川淳也衆議院議員の進行によって議事が進められた。

「J R最大の産別組織として政治に働きかけ政策課題や組織課題の解決をめざす」

「河村滋喜J R連合事務局長から、報告事項として、熊本地震や台風による鉄道

「J R最大の産別組織として政治に働きかけ政策課題や組織課題の解決をめざす」

「河村滋喜J R連合事務局長から、報告事項として、熊本地震や台風による鉄道



地方における公共交通のあり方を含め、JR連合の政策課題実現に取り組むと考え方を示す福岡代表幹事

地方における公共交通のあり方を含め、JR連合の政策課題実現に取り組むと考え方を示す福岡代表幹事

【JR連合地方議員団連絡会役員】

役職	氏名	所属単組/所属議員
代表幹事	福岡 裕隆	JR西労組/鳥取県議会議員
幹事	菅原 和忠	JR北労組/北海道議会議員
幹事	世古口新吾	JR東海ユニオン/伊勢市議会議員
幹事	井上 洋一	JR四国労組/砥部町議会議員
幹事	村山 弘行	JR九州労組/太宰府市議会議員
幹事	堀内 武治	貨物鉄産労/掛川市議会議員

(各地方議員団議員数 JR北労組8人、JRイーストユニオン1人、JR東海ユニオン11人、JR西労組19人、JR四国3人、JR九州12人、貨物鉄産労1人)

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」

第12回総会

2016.11.9

J R 連合

日本鉄道労働組合連合会

政策課題・組織課題の解決のため政治とのかかわりを活かし、連帯すると決意を示す高木会長

第21回JR連合セミナー

JR連合運動を牽引する役員として

JR連合は、11月6～7日、都内において「第21回JR連合セミナー」を開催した。JR連合運動を牽引するJR各組中央本部役員および地方本部三役などの新任役員を対象に行った今セミナーには、JR各組から26人が参加し、JR連合が取り組む政策課題および組織課題などについて学んだ。

1日目、松岡裕次JR連合会長からは、2016年度の運動方針に基づき、直近動向を踏まえてJR連合の取り組みを紹介した。続いて、政所大祐政策・調査部長は、JR連合が抱える政策課題について、とりわけ税制、災害対策、整備新



合川川を説く重要性の政治活動のための実現政策議院議員

幹線、リニアなど交通政策課題の解決にむけた取り組みと昨今の諸情勢を紹介した。また、現在政府が進めている「働き方改革」の内容容についても紹介し、労働政策として、JR連合も今後、「長時間労働の是正」や「同一賃金同一労働」の課題に取り組むことの必要性などを研修生どうしでディスカッションを行った。河村滋喜事務局長は、連合・交通労協とJR連合との関わりとJR連合の現状について講義し、研修生らは連

合と交通労協の組織概要、構成組織、政策課題とそれぞれが抱える課題などについて理解を深めた。研修2日目の早

朝、研修生らは、JR労働界の現状認識した上で民主化闘争を実践・実感するために、JRイーストユニオンが毎月実施している民主化ビラ配付行動に参加し、東京支社、横浜支社、東京総合車両センターにおいてビラ配付を行った。

連合2017春季生活闘争中央討論集会
政府の賃上げ政策との違いを強調

連合は、10月31日から11月1日の2日間にわたり、2017春季生活闘争の構想を話し合う中央討論集を都内で開催した。4年連続の賃上げを提起している連合は、「経済の自立的成長」「包括的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」を重視し、政府の賃上げ政策との違いを強調している。討論では、公正取り引き実現の取り組み

「政治との関わり」について何かしら気付きを得たことと思う。また、全国から集まった仲間たちとの懇親も大いに深め合うことができた。

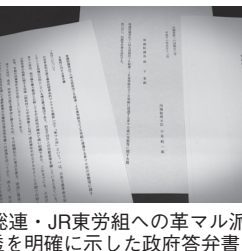
「格差是正」に重点を置いた取り組みの展開を訴えた。基本構想をめぐっては、構成組織より、①毎年の賃上げの定着、②賃金データを集め、賃金の社会相場の形成、③公正取り引きの実現などの要望と人材確保・育成のため、下請け企業との公正取り引き実現に向け労使間での認識の共有を図る取り組み報告を受けた。ワークルールに関する議論では、既に勤務時間インターバル制度を導入した組織から「仲間の命と健康を守らなければならない。連合が残業時間の上限を定めるべき」と

特集
民主化闘争7
JR総連・JR東労組における
革マル派の動向に重大な関心

2006年4月、当時JR連合国会議員懇談会事務局長の山下八洲夫参議院議員は政府に対して「JR総連・JR東労組などJR労働組に浸透する革マル派の実態等に関する質問主意書」を提出し、同年5月、政府から答弁書が提出された。JR総連・JR東労組にお

ける革マル派の動向に重大な関心を払っている姿勢を明らかにした。

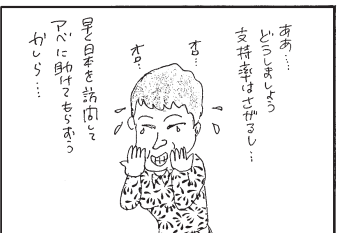
※質問主意書とは、国会法第74条の規定に基づき、国會議員が内閣に対して質問する際、国会議員が内閣に対して、通常の国会質疑の場だけでなくも政府の見解を質したり情報提供を求めたりすることができるもの。議席の少ない野党や無所属議員にとって有用な政治活動の手段である。また、質問主意書によって政府見解が明らかになったり、政府の問題が明らかになったりするメリットもあるとされる。



JR総連・JR東労組への革マル派浸透を明確に示した政府答弁書

日本革命的共産主義者同盟革命的マルクス主義（以下「革マル派」という。）は、共産主義革命を起こすことを究極の目的としている極左暴力集団であり、約5400人の活動家等を擁している」とみている。革マル派は、他の極左暴力集団と比較しても非公然性が極めて強い組織であり、これまでにも、火炎瓶の使用などの処罰に関する法律（昭和47年法律第17号）違反事件や対立するセクトとの間での殺人事件等、多数の刑事事件を引き起こしているところである。

革マル派は、現在、将来の共産主義革命に備えるため、その組織拡大に重点を置き、周囲に警戒心を抱かせないよう党派性を隠している。このため、警察としては、JR総連及びJR東労組という公共交通機関の労働組合における革マル派動向について、公安の維持の観点から重大な関心を払っている。



退職者連絡会第12回全国会長会議・交通共済推進会議
組織拡大・共済加入促進を意思統一

JR連合退職者連絡会は、10月27日（28日）静岡県伊豆市において、第12回全国会長会議・交通共済推進会議を全国各地方から総勢60人が集い開催した。来賓には、日本退職者連合から阿部保吉会長、交通共済から大北一雄総務財政部長より出席頂き、JR連合からは、上村良成総合組織・政策局長が参加した。日本退職者連合・阿部会長は、「先



山積する課題解決に向け取り組み強化を促す高野会長

退職者連絡会も、これまでの参議院議員選挙の取り組み、熊本地震に対する支援カンパ等多くの会員の協力を力に、次期総選挙の取り組み、更に組織拡大、共

家族の幸せを災害から守る
火災共済 オプション保障
火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事 occurred した場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

類焼損害保障

個人賠償保障

借家人賠償保障+修理費用

※借家にお住まいの方のみ

オプション保障（類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用）は、共済火災海上保険協を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ず「パンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。」

みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

B1424401E2144-20150209

グループ
労組紹介
徳島ターミナルビル労働組合 (TTBユニオン)
(JR四国連合)

「組合員の雇用を守り、労働条件の維持・改善を図る」

- 執行委員長 鷲巢 勲
- 組織数 70人
- 組合員の構成
ホテルクレメント徳島とJR徳島駅ビル開発(株)で働く社員及び契約社員
- 主な仕事内容
ホテル業(宿泊、飲食、婚礼、物販)、テナント管理、駐車場運営管理
- 組合の主な取り組み
会社との団体交渉(夏季賞与・年末賞与・春季生活闘争・その他労働条件や職場環境の改善等)、経営協議会等
- 組織の状況
2015年4月にJRホテルクレメント高松の運営会社であった「(株)ジェイアール四国ホテル開発」を存続会社として、高松・徳島・宇和島のホテル3社を吸収合併し、インターバル規制の推進が求められた。

JR連合は、連合の基本構想をもとに、関係諸会議、中央委員会を経て、2017春季生活闘争方針を決定することとしている。

今後は、組織の統一も視野に入しながら、組合員の雇用を第一義に労働条件の維持・改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。

その後、2016年7月には「(株)JR四国ホテルズ」へと改称されました。現在、(株)JR四国ホテルズ内には2つの労働組合(ジェイアール四国ホテル開発労働組合と徳島ターミナルビル労働組合)が存在しています。

徳島ターミナルビル労働組合定期大会で団結ガンバロー